

SANO HOSPITAL NEWS

内視鏡技術がもたらす 消化器がんの早期発見

～これからの医療は、早期に見つけて、早期に直す基本～



現在、ますます重要視されてきている「内視鏡技術」。2030年には、2人に1人はがん患者の時代といわれているように、今後は、がん治療が医療の中心になると考えられています。そのため、やはり早期発見・早期治療が鉄則ですが、そこで大きな力を発揮するのが「内視鏡検査」です。

の多くは、大変苦痛を伴う検査というイメージを持たれています。しかしアメリカ、あるいは日本の関東地方などでは、内視鏡検査の際には通常、浅い麻酔である静脈麻酔を使用します。これによって内視鏡検査はぐっと楽になります。

■なぜ内視鏡検査が必要なのか

高齢化社会に突入したわが国において、生産性の高い若い労働力を確保することが重要課題となっています。そのためには病気を早く見つけ、早く治療することが重要であり、国は「病気の検査」に力を入れはじめています。特に消化器の検査において、非常に有効な医療技術が「内視鏡検査」です。

これに対し関西では、約3分の2の方が、麻酔は怖いというイメージから、わざわざ麻酔を使用しない、苦しい検査を受けておられる状況です。検査は苦痛であっては意味がありません。楽なものであるべきです。静脈麻酔を使用して検査を受けられた方の中には、楽だったというだけでなく、リフレッシュできたという方もいらっしゃるほどです。もちろん、麻酔を使用するためには、酸素濃度や心拍音のモニタリングができる設備などが必要ですが、当院はそのための環境も整えています。内視鏡検査を、気軽に、楽に受診していただくことこそ、がんの早期発見への一番の近道です。



佐野病院が導入した最新の内視鏡は、がんになりやすい部位の特徴である、毛細血管のわずかな厚みも識別でき、早期がんや腫瘍の発見率を格段に引き上げました。しかし、この内視鏡の操作には高度な技術が必要で、誰でもできるわけではありません。そこで、国立がんセンター東病院の内視鏡部消化器内視鏡室の医長を務めていたころの人脈を活かし、がんセンターで共に働いたスタッフを呼び寄せ、この高度な内視鏡検査を行うことができる環境を整えたのです。

■特化した技術で地域貢献

内視鏡検査のような高度な医療を地域の病院で受けるためには、それぞれの病院が特定の分野にフォーカスをあて、そのための設備、スタッフを充実する必要があります。規模の大きな病院も、もちろん必要ですが、ある分野に特化した病院が地域に存在することで、地域の医療が高度になり、患者さんは高度な治療を受けやすい環境になります。



最新の医療機器と先進の医療技術によって可能となった内視鏡検査によって、これから求められる医療である、がんの早期発見に力を注いでいく体制が整ったといえます。

■苦痛を軽減するためのさまざまな工夫

内視鏡検査は、がんの早期発見に大変有効ですが、関西の方



- JR舞子駅・山陽電車 舞子公園駅から徒歩5分
- 神戸市営地下鉄 学園都市駅 西岡橋停留所下車 徒歩5分
- JR垂水駅・山陽電車 山陽垂水駅から徒歩5分
- 2系統清水が丘 清水が丘停留所下車



特集 通院治療のできる抗がん剤治療室



がん治療において、抗がん剤による化学療法の果たす役割は、年々大きくなっています。また、ここ3~4年の間に認可された新たな抗がん剤によって、入院せず、通院しながら安全で副作用の少ない抗がん剤治療が可能となってきています。

しかし、通院による抗がん剤治療のニーズが高まる一方で、そのための専門施設を備えた病院が少ないことから、まだまだ、快適な抗がん剤治療が受けられる環境が整っているとは言い難い状況です。

佐野病院では「患者さまに、より快適で安全な抗がん剤治療」を受けていただくために、消化器センター内に専用の治療室を設けています。

POINT その①

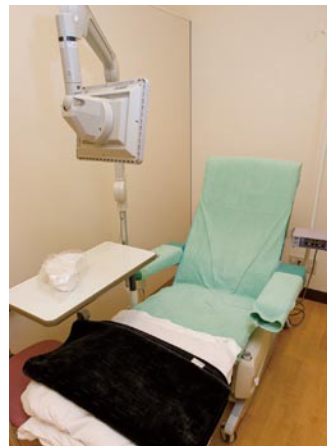
ゆったりと治療を受けることができる快適スペース

佐野病院の抗がん剤治療室は完全個室型で、TVとDVDの視聴が可能なリクライニングチェアでゆったりと治療を受けることができます。また、60㎡という広いスペースの中に、治療室、診察室、調剤室、トイレ（2室）を完備し、患者さまの治療中のストレスをできるだけ軽減できる、リラックス空間となっています。

POINT その②

がん専門スタッフによる充実したケア

がん治療の専任医師（元国立がんセンター東病院 内科医師2名、外科医師1名）看護師、薬剤師というスペシャルチームを組織し、最新の技術を取り入れた治療を実施します。



治療室は完全個室型。リラックスした中での治療が可能です。

POINT その③

科学的根拠に基づいた治療

抗がん剤の対象疾患、種類、基準投与量、用法などのすべての治療において、委員会、科学的根拠に基づき審査を行った後、プロトコルとして登録を行い、化学療法の標準化を進め、安全性の向上を図ります。

POINT その④

レジメント（治療計画書）制度

登録されたプロトコルに従い、一人ひとりの患者さまに合わせた治療計画書（レジメント）を作成し、これに基づき化学療法を実施します。医師だけでなく、看護師、薬剤師と治療に関する情報が共有でき、高い安全性と医療の質の向上を図ることができます。

佐野病院消化器センターは患者さんの悩みを解決します。

- がん治療の専門医師の存在を知ってください
- より快適な抗がん剤治療を受診してください
- 専門治療のため、遠方まで足を運ぶ不便さを解消してください

国内でも
トップクラスの安心



消化器センターは患者さまに安心感を与える暖かみのあるデザインを採用



佐野病院消化器センター通院抗がん剤治療室は
完全予約システムを採用しています。
現在、おかけの医師にご相談ください。